

麻の葉（あさのは）とは、古来より日本にある、成長・健康を願う模様です

2026.5

あさのは

23



特集 身体拘束最小化について

新年度のご挨拶／新入職員のご紹介／
ACP 研修／生活習慣病とは

地域と共に歩む医療を目指して

健やかな春の光が降り注ぐ季節となりました。地域の皆様におかれましては、健やかに新年度を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新年度の始まりは、私たち医療従事者にとっても「志」を新たにすること大切な節目です。当院はこれまで、地域に根差した「安心の拠点」となるべく、日々の診療に邁進してまいりました。医療を取り巻く環境は絶えず変化していますが、私たちの原点は常に、目の前の患者様の不安に寄り添い、確かな技術と真心を込めたケアを提供することにあります。

本年度も、近隣の医療機関との連携をさらに深め、予防医学から急性期、そして在宅まで、皆様の健やかな暮らしを包括的に支える体制を強化してまいります。

小さな体調の変化や健康への不安など、いつでもお気軽にご相談ください。皆様の「一番身近なパートナー」として、職員一同、より一層精進してまいります所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



浅草病院 院長
日野 博文



新入職員のご紹介

眼科

まの さゆり
真野 小百合 医師

3階 眼科外来にて
診療を行っております



外来担当医表

※手術日・検査日は外来の診療を行っておりません。

	月	火	水	木	金	土
午前	真野 小百合 (初診 10:30 まで) (再診 11:30 まで)	真野 小百合	真野 小百合	真野 小百合	真野 小百合 (初診 10:30 まで) (再診 11:30 まで)	工藤 大介 (受付 11:30 まで)
午後	手術日	検査日 (予約制)	真野 小百合	検査日 (予約制)	検査日 (予約制)	

新卒

看護部 8人

リハビリテーション技術科 4人

薬剤科 3人

医療相談課 3人

事務部 4人



よろしくお願ひいたします！

身体拘束最小化への取り組みについて

身体拘束とは？

点滴などの必要な医療器具をご自分で外してしまうことや、転んで頭を打つ・骨折することなどを予防するために、さまざまな器具で身体を自由を制限する行為のことです。



ミトン



車椅子ベルト



抑制帯



ただし、「身体拘束」をすることにより完全に防げるものではなく、その危険となる行為を助長させてしまう可能性もあります。

当院での取り組み

当院では「人としての尊厳を守りながら、安全なケアを提供することで、患者様が安心して、満足できる入院生活を送ることができる」という目的のもと、自由と尊厳を奪う身体拘束は行わないことを原則としております。



身体拘束最小化研修の様子

「拘束をしないケア」を目指して頑張ります！

新人オリエンテーションの中で、リハビリ科と看護部合同で行っている「身体拘束を体験しよう」という研修の様子です。拘束される側の体験をすることで、患者様や家族の苦痛を知ります。



車椅子ベルト



つなぎ服

身体拘束による弊害

動きたいのに
動けない…

身体的制限



精神的苦痛

恥ずかしい…
ずっとこのままなの？
どうしたらいいの？



ただし、「身体拘束」をしないことにより
転倒や点滴等の自己抜去のリスクもあります。

当院では患者様が安心して入院していただけるように、全職員が知恵を絞り、工夫をして身体拘束の廃止に取り組んでいます。患者様とご家族様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※やむを得ない場合のみ最小限の身体拘束をご相談させていただきます。



ACP 研修を行いました!

「ACP」とはアドバンス・ケア・プランニングの略で「人生の最終段階における医療・ケアについて、本人・家族・医療者が繰り返し話し合い、共有するプロセス」を指します。

先日部署責任者を対象に「もしバナゲーム」を用いた研修を行いました。もしバナゲームとは、余命わずかの想定のもと何を大切にしたいか自分の価値観を基に皆で話し合い、共有するゲームです。各自の価値観を改めて認識し、実践の場でACPにどう関わっていけるか考えを深める良い機会となりました。

研修の様子



当院2階のラックに
ACPコーナーを設置しております。
ぜひお手に取ってご覧ください。



生活習慣病とは



健診センター医師
吉永 陽子 先生より

生活習慣病とは「健康的と言えない生活習慣」が関係している病気の総称であり、代表的なものとしてがん（悪性新生物）、心疾患（狭心症や心筋梗塞などの心臓病、脳血管疾患（脳梗塞やくも膜下出血などの脳の疾患）、糖尿病、高血圧症などが含まれます。

昔は「成人病」と呼ばれており、加齢に伴い発症するものと考えられていましたが、実は食習慣や運動習慣、喫煙、飲酒、睡眠不足やストレス等の生活習慣が病の発症、進行に大きく関与している事が明らかとなり、近年では子供や青少年でも発症が認められてきたことで、「生活習慣病」と名称が変更されました。

「生活習慣病」の予防については加齢を超えて毎日の生活習慣が問題であり、これを改善することにより、疾病の発症や進行が予防できるのです。

しかし生活習慣というものはその人の日常生活に染み付いており、なかなか改善するきっかけを持ってません。「生活習慣病」も初期は無自覚なものがほとんどであり、症状を自覚した時には既に進行しているという事例も少なくありません。

早期発見には、比較的簡易で費用負担が少ない生活習慣病健診と、より詳細な検査で全身の健康状態を把握し生活習慣病のリスク評価や予防が可能な人間ドックが有用です。

生活習慣病健診も人間ドックも、健康なうちに受診してこそ、その意味を持ちます。

「時間がない」とか「今は元気だから大丈夫」と安易に考えず、「転ばぬ先の杖」として、定期的に受診し、自身の健康に役立ててください。

当院で受けられる 生活習慣病健診

「労働安全衛生法に基づく定期健診」の検査内容に消化器系の検査、血液項目をプラスした生活習慣病の早期発見・早期治療に最適な健康診断です

料金：22,000円（税込）

※健康保険組合の補助を利用される場合、金額が異なります。必ず事前にお申し出ください

検査内容

身体計測：身長、体重、BMI、腹囲、視力測定

血圧：血圧測定

心電図：12誘導心電図検査

聴力：聴力検査（1000Hz・4000Hz）

X線検査：胸部X線直接撮影、胃部X線検査直接撮影*

*胃管内視鏡検査への変更可（別途4,400円）

肝機能検査：GOT、GPT、 γ -GTP・ALP

血中脂質検査：中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、総コレステロール、non HDL-コレステロール

血糖検査：空腹時血糖、HbA1c

腎機能・痛風：クレアチニン、尿素窒素、尿酸、eGFR

貧血検査：白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット

尿検査：蛋白、糖、潜血

便検査：便潜血反応（2回法）

問診・診察：内科診察

こちらの
QRコードから
お申込みいただけます



交通アクセスについて

浅草駅をご利用の場合

東京メトロ銀座線、都営浅草線、東武スカイツリーライン

都営バス「東武浅草駅前」から乗車

「南千住駅西口行き」⇒「東浅草」下車 徒歩 8 分

「南千住車庫前行き」⇒「今戸 2 丁目」下車 徒歩 4 分

台東区循環バス 北めぐりん「浅草駅」から乗車

「今戸 2 丁目」下車 徒歩 4 分

浅草駅より 徒歩約 20 分 タクシー 8 分

南千住駅をご利用の場合

JR 常磐線、東京メトロ日比谷線、つくばエクスプレス

都営バス「南千住車庫前」から乗車

「浅草雷門行き」⇒「浅草病院前」下車

都営バス「南千住車庫前」または「南千住駅西口」から乗車

「東神田行き」または「東京八重洲口行き」

⇒「東浅草」下車 徒歩 8 分

南千住駅より 徒歩約 25 分 タクシー 8 分

無料シャトルバス運行のご案内

浅草病院⇄浅草駅 浅草病院⇄南千住駅

約20分間隔でご案内しております。



時刻表 QR

お車をご利用の場合

当院には駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。やむを得ずお車で越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

受付・診療時間について

受付・診療時間	受付	診療
午前	初診 8:00 ~ 11:30 / 再診 8:00 ~ 12:20	9:00 ~
午後	12:30 ~ 17:00	14:00 ~
夕診	17:00 ~ 18:00	17:30 ~

詳しくはこちらまで

浅草病院
ホームページ



浅草病院
YouTube



病院理念・基本方針

医療に生かそう 愛と奉仕と思いやり

- 1) 地域の皆さまに安全で質の高い医療を提供します。
- 2) 救急センターを窓口にも、24 時間いつでも安心して罹れる救急医療を目指します。
- 3) 健診センターを中心に、地域の皆さまの癌をはじめとする三大疾病の早期発見や生活習慣病の予防に必要な検診および予防接種などを推進します。
- 4) 地域や社会に貢献できる質の高い医療と介護を可能とするため、職員は日々研鑽に努めます。
- 5) 地域の診療所や医療機関と密接した病診・病病連携をします。

